

現代美術展 開催場所【解説】

オリナス一宮

所在地：一宮市本町 2 丁目 4 番 34 号

大正 13 年（1924）竣工。名古屋市一帯の銀行や商業施設を多く手がけた、鈴木禎次（1870-1941）の設計による、鉄筋コンクリート 3 階建の建物。旧名古屋銀行一宮支店として建築された（一宮支店の前身は、明治 26 年 [1893] 綿糸商・豊島半七が織物業者への貸付を主目的に創設した豊島銀行）。昭和 55 年（1980）の銀行移転後は、一宮市役所西分庁舎となったが、本庁舎新築に合わせてイベントスペースとして改修され、平成 28 年（2017）に「オリナス一宮」としてリニューアルした。

本町アーケードに面した正面には 4 本の列柱が並び、かつて銀行の営業室と客溜であった 1 階は 2 階までの吹き抜けとなっている。1 階奥には金庫の扉が残り、往時を偲ぶことができる。



墨会館（小信中島公民館・尾西生涯学習センター墨会館）

所在地：一宮市小信中島字南九反 11 番地 1

昭和 32 年（1957）竣工。世界的に活躍した建築家・丹下健三（1913-2005）の設計による、鉄筋コンクリート造平屋一部 2 階建の建物。毛織物の染色整理加工業を営む艶金興業株式会社社長・墨敏夫の依頼により、同社本社として建設された。

平成 20 年（2008）に国の登録有形文化財（建造物）となり、改修を経て、現在は小信中島公民館および尾西生涯学習センター墨会館として保存・活用がなされている。



旧林家住宅（一宮市尾西歴史民俗資料館別館）

所在地：一宮市起字下町 211 番地

江戸時代に美濃路起宿脇本陣（大名などが宿泊する本陣の予備的な宿舎）と船庄屋職（起川渡船場の管理職）を兼帯した林家の住宅。明治 24 年（1891）の濃尾地震で倒壊した跡地に、大正初め頃に建てられた。江戸時代の伝統的な町屋建築の様式をよく伝えている。平成 14 年（2002）に国の登録有形文化財建造物となった。



一宮市役所本庁舎

所在地：一宮市本町 2 丁目 5 番 6 号

平成 26 年（2014）竣工。平成 17 年（2005）の 2 市 1 町による合併の後、新たに建設された地下 1 階地上 15 階建の建物。



i-ビル（尾張一宮駅前ビル）

所在地：一宮市栄 3 丁目 1 番 2 号

平成 24 年（2012）竣工。JR 尾張一宮駅に隣接し、一宮市立中央図書館や子育て支援センターなどのほか、会議室やイベントスペースなども備えた、7 階建の複合的な施設。

